

議会だより



秋望の寒霞溪

- 審議議案 9月定例会について2～3
- 一般質問 8人の議員が質問4～9
- 議会日誌10

9月定例会

9月6日から9月15日 開催



9月6日から9月15日まで開催された9月定例会では、令和4年度の各会計決算認定をはじめ、条例案件1件、予算案件2件が提案されたほか、報告2件、諮問2件がありました。
提出された議案のうち、各会計の決算認定については決算特別委員会へ付託し、慎重に審議を行いました。
議案は全て原案通り可決されました。

一般会計

追加補正予算額

6億1441万円

主な補正予算の内容

教育・子育ての充実

○内海地区3小学校の統合に向けた基本計画策定委託料
1760万円

星城・安田・苗羽小学校の統合に向けて、施設の配置計画や工程、概算工事費等を算出するための基本計画策定業務の委託料です。

○幼稚園児通園バス置き去り防止システムの設置費等
160万8千円

通園時の置き去り防止を徹底するため、送迎用バス6台に安全装置システムを設置するものです。

燃料価格等物価高騰対策

○第3次公共交通等維持応援給付金
1670万円

燃料価格高騰の影響により、厳しい経営環境にある公共交通事業者を支援するものです。

これらは、観光庁の補助事業を活用し、地域一体となって小豆島観光の再生を目指すものです。

観光振興対策

*港を起点とした観光周遊型のシャトルバス実証運行業務委託料
627万円

*観光サービスの高付加価値化事業補助金(女子旅・モニターツアーなど)
200万円

*小豆島オリーブ公園採油施設改良事業費
1348万7千円

これらは、観光庁の補助事業を活用し、地域一体となって小豆島観光の再生を目指すものです。

○日本遺産「福田・森ヶ滝丁場跡」の公開に向けた環境整備事業費
273万7千円

日本遺産の構成文化財である福田・森ヶ滝丁場跡の整備・公開に向け、樹木の伐採や土地の借り上げを行うものです。



森ヶ滝丁場跡

公共施設の維持管理修繕

○馬木ポンプ場仮設ポンプ設置工事費
1130万円

馬木ポンプ場のポンプ故障に伴い、緊急対応として仮設ポンプ2基をレンタル設置するものです。

○小学校施設修繕料
249万7千円

〈池田小学校〉
・砂場の木枠修繕
〈安田小学校〉
・エアコン更新
〈苗羽小学校〉
・電話システム更新

○小豆島こどもセンター厨房機器更新料
158万4千円

こどもセンターの冷蔵庫・冷凍庫の老朽化に伴う更新です。



条例の一部改正

小豆島町児童館条例の一部を改正する条例

池田児童館を隣保館へ用途変更するにあたり、必要な改正を行うものです。

財政健全化に基づく報告

財政健全化法に基づく健全化判断比率の4指標と、介護保険施設事業の資金不足比率について、全ての値において健全な状態であると報告されました。

町の収入に対する借金の比率である実質公債費比率が0・1ポイント改善の6・0パーセント(単年度)となりました。

今後も小学校の再編、改良住宅の建て替えなど大型の社会資本整備が予定されている中、町債発行の総量抑制など計画的な財政運営が求められます。

人事案件

人権擁護委員

現在の委員である濱野氏、増田氏が令和5年12月31日をもって任期満了となることに伴い、引き続き2氏を人権擁護委員候補者とする推薦に適任として答申しました。



濱野 守 氏 (再任・池田)



増田 寿美子 氏 (再任・安田)

令和4年度決算を審議【決算特別委員会】

歳入

歳入総額は120億1925万8千円(前年比3459万9千円増)でした。ふるさと納税寄付金で9億4579万円の収入がありました。

歳出

[一般会計]

歳出総額は109億7042万8千円(前年比1億1431万9千円減)でした。一般会計基金総額は75億6306万2千円になりました。



決算特別委員会とは、議会に提出された町の1年間の「歳入歳出決算」について、その審査をするために設置される特別委員会です。9月8日から4日間かけて慎重に審査し、以下の意見を付して認定しました。

【総務課】

・ 職員の定員管理において、町の職員数が不足し、各課が執り行う事業に支障が生じてきている。インターンシップの活用、各種の大学等への周知や通年採用制を導入するなど、新たな職員の確保に向けて手段を検討されたい。

【生涯学習課】

・ 公民館や図書館等の社会教育施設については、施設の老朽化が進んでいる。人口減少や人口構成にも変化があるが、利用ニーズの多様性も鑑みながら、今後の社会教育施設全体のあり方について、総合的に検討されたい。

8月臨時会

第3回臨時会は8月1日に開催されました。報告1件、工事請負契約の変更議案(安田排水区3号雨水幹線新設工事(その2))に係る工事請負契約の変更(1件)が提案され、原案の通り承認・可決されました。

行政視察

7月13日に茨城県土浦市議会が、小豆島町の子育て支援施策の現状について、行政視察のため来訪されました。

こども教育課が「小豆島町子育てアクションプラン」の取り組みを中心に説明を行い、「自然や文化をいかした教育・保育にはどのようなものがあるか」などの質問がありました。



町政に届ける



一般質問

とは

議員が行政全般にわたり、住民の声や自身の調査研究をもとに、町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や方針などについて質問したり、報告や説明を求めたりすることです。

質問内容	質問者	掲載ページ
▷草壁・高松航路を含む全島航路への今後の対策は	塩田 洋介	5 ページ
▷島内で安心して出産できる体制を	川井 茂	
▷小豆島町の全国学力テストの現状は	谷 康男	6 ページ
▷島外出産にあたっての援護は		
▷「はたちのつどい」を両町合同開催はできないか	三木 卓	7 ページ
▷ドクターヘリの離着陸場所の追加整備を		
▷公共施設、公民館等の使用料等の減免は	羽田 満	8 ページ
▷介護予防支援ボランティアの活動状況は		
▷小学校統合の行程を示せ	大下 淳	9 ページ
▷地域内循環バス実証運行の結果は		
▷農地転用における計画に圃場整備事業の規格適用を	安井 信之	8 ページ
▷保育園の利用要件等の対応策を		
▷ナラ枯れ被害をどう対処するのか	鍋谷真由美	9 ページ
▷マイナカード運用に伴う保険証廃止は中止・延期を		
▷不登校児童・生徒の支援は		
▷教員不足の実態と対策は		

動画配信中

本会議での一般質問の様子を『YouTube』で録画配信しています



こちらから

傍聴できます

本会議はどなたでも傍聴できます『傍聴』を希望される方は、本会議当日に、議会事務局までお越しください



こちらから

草壁・高松航路を含む

全島航路への今後の対策は

町「草壁・高松航路は過去の乗船実績を参考に売上と経費をシミュレーションした結果、赤字となるため就航不可能である」



しおた しょうすけ 議員
塩田 洋介

質問 まずは町長の前向きな取り組みに対して、ありがたくお礼申し上げたい。

両備フェリーとの交渉での草壁高松航路4便の再開案の運航ダイヤを公開して頂きたい。また、土庄高松、池田高松の2航路でキャパシティーに余裕があるとの見解に対する根拠は。

さらに、大部日生航

路が12月1日より休止になる。これは土庄町だけの問題ではなく、島全体の産業構造や島の将来にも関わる問題として両町民に問題提起をして議論すべきでは。

そして、2025年の大阪・関西万博、瀬戸内国際芸術祭にいかほどの来島者を見込み、交通インフラの対応をどのように考えているのか。

答弁 両備グループは赤字の見解であり、4便のダイヤは現在の池田高松航路の運航ダ

イヤを含むもので他業者に提案できない。

輸送キャパシティー（乗船率）については現在、池田高松航路が11・2%、土庄高松航路が17・1%で、相当の余裕がある。なお、福田姫路航路については現在船員の確保が進み、船員の訓練中と聞いている。

万博、瀬戸芸については、学者でもコンサルでもない私が来島者を推計するところではない。

島内で安心して出産できる体制を

町「セミオープンシステムの導入を進めながら、島で出産できる体制づくりに最大限努力する」



かわい しげる 議員
川井 茂

質問 小豆島中央病院の産科医師不足による「セミオープンシステム」の導入は、現時点では他に選択肢のない対応だと聞いた。若い人たちには出産できない小豆島は受け入れがたい残念なものだ。どうしても島内で出産できる体制を作らなければならぬと思うが、町長の考えは。

再質問 子育て世代のお母さんから高齢の方まで40数人の声を聞いた。「若いもんが生きていけないやないか。島が沈んでしまう」「もう小豆島は終わりやね」「署名運動などは無いのですか」など悲痛的な表情と声であった。希望を奪ってしまおう事態だと思つた。町長の答弁は「これから今まで以上に島

答弁 島内において低リスクの妊婦が出産できる体制を維持するには、セミオープンシステムの導入は避けら

れない状況にある。円滑な導入に努めるとともに、妊婦の経済的負担の軽減を図るため、支援に関する制度設計も進めていく。

産科の医師確保については、土庄町とともに、国、県、香川大学等への要望を今後も継続していく。

答弁 最大限の努力を続けていく。



*「セミオープンシステム」とは：周産期母子医療センター等の医療設備やスタッフが整っている連携病院と地域の医療機関が連携し、妊婦健診は地域の医療機関で行い、妊娠後期の健診や出産は連携病院で行うことです。出産には、連携病院の医師・助産師が立ち会います。

小豆島町の全国学力テストの現状は

町「本町の英語教育を

引っ張っていく人材確保が課題」



議員 高橋 康男

【質問】 四国新聞によ

ると、全国学力テスト
において、4年ぶりの
調査となった中3英語
で「話す」の全国平均
正答率が12・4%とな

り、前回より18・4ポ
イント下がったとある
が、小豆島町の現状は。
小・中・高一貫教育
の中で英語教育の重要
性が高まると思うが、
町としてどのように対
応していくのか。

幼児期や小学校低学
年から外国語に触れる
ことができるよう努め
ているが、新たな取り
組みが必要である。

また、本町の英語教
育を引っ張っていく人
材の確保が課題であ
り、地域おこし協力量
や外国語指導助手の増
員についても検討した
い。

島外出産にあたっての町の援護は

町「町で補助制度を創設していく」

【質問】 小豆島中央病

院での出産が一部の事
例を除いて実質できな
くなる。島外で出産す
る方の滞在先確保のた
め、町によるマンシヨ
ン等の借り上げを検討
できないか。

【答弁】 セミオープン

システムを利用して島
外で出産する場合、事
前に連携医療機関近隣
での滞在が必要となる
が、滞在先は妊婦や家
族の状況、意向により
多様なニーズが予想さ

れることから、妊婦自
身で準備していただき
たい。

費用については町で
補助制度を創設してい
く。

「はたちのつどい」を両町合同開催はできないか

町「アンケートを実施する方向で

土庄町と協議を進めたい」



議員 高橋 三木

【質問】 小豆島中央高
校に統合されて5年が
たち、「土庄町に友人
が多く、成人式は少

寂しかった」という声
を聞いたことがある。
「はたちのつどい」を
両町が合同で開催す
ることはできないか。

【答弁】 すでに土庄町
と協議は行っている
が、開催場所につい
て両町で合意できるの
か

ドクターヘリの離着陸場所の追加整備を

町「今年度、橘地区において追加の申請を行っている」

【質問】 ドクターヘリ

の離着陸場所は町内に
合計12カ所あるが、実
質使用できるのが、B
& Gと池田港のみに
なっているのではない
か。

はできないか。

【答弁】

【答弁①】 先に到着し
た場合、医師は消防隊
の車で患者の乗った救
急車に向かい、合流し
て治療を始める。質問
にあるような医師が待
っている状態はない。
【答弁②】 離着陸場所
は小豆地区消防本部が
調査を行い、候補地を

【質問①】 ドクターヘ
リが先に到着し、医師
が待っている状態は起
こっているのか。
【質問②】 新たな離着
陸場所を整備すること



公共施設、公民館等の使用料等の減免は

町「各団体の活動実態を把握し、公平性の観点から減免基準の見直しは丁寧に進めていきたい」



羽田 満 議員

質問 公共施設、公民館等の使用料等の減免の見直しは真摯に検討していく必要があるが、どのように対応するのか。

答弁 各種公共施設は、条例で使用料および減免を定め、町の関連団体等から申請を受けて減免しており、活動団体の負担の軽減を通じて、活動の推進を行ってきた。

現状は受益者負担の明確化と公平性に問題があるため見直しを検討中であるが、減免を取りやめると捉えた団



公民館活動の様子

体もあり、様々な意見をいただいている。各団体の活動実態を把握し、公平性の観点から減免基準の見直しは丁寧に進めていきたい。

介護予防支援ボランティアの活動状況は
町「登録者が着実に増える中、地域住民が一体となって高齢者を支える地域づくりに取り組みたい」

質問 介護予防支援ボランティア活動の現状はどうなっているか。

答弁 介護予防支援ボランティア制度は、活動を通じて社会参加、地域貢献を行うとともに、自身の健康づくり、介護予防の推進

を目的とした有償ボランティア制度である。

ボランティアを育成するオリープ健康塾の受講者やボランティア登録者は着実に増え、高齢者等の見守り訪問や買物、ごみ出し支援、高齢者の通いの場であるサロンの運営等で活

躍している。支援や介護が必要となる高齢者の増加が見込まれる中、自治会をはじめ各種団体と連携を図りながら、地域住民が一体となって高齢者を支える地域づくりに取り組みたい。

小学校統合の行程を示せ

町「用地取得と並行して基本計画を策定する」



おおした あつし 議員

質問 教育大綱では、安全で安心できる学校施設の整備をめざし、3小学校は統合する方向で進めるとされているが、今後の展開が全く見えない。

ではないか。何を進めるのか、何か意図するものでもあるのか。

答弁 現在香川県と

用地交渉中で、払い下げが決まり次第速やかに用地を取得したいと考えている。出生数が減少しておりスピード感を持って統合を進めたい。統合までのスケジュールは現段階では次の通りである。

統合する方向で進めると書かれているが、「統合する」で良いの本計画を策定する。ま

た、統合小学校の位置や整備方針を最終決定し、それに沿う基本計画を今年度末までに策定する。

なお、将来的には小・中学校が併設できるような配置計画を進めたい。仮に旧小豆島高校跡地に小学校を建設する場合、令和7年度に本体工事に着手し、令和9年4月の開校を想定している。

地域内循環バス実証運行の結果は

町「より良い公共交通の実現をめざしたい」

質問 4月3日から始まった実証運行の利用状況はどうであったのか。費用対効果の面からもこの結果をどう判断されるのか。

答弁 本年4月から7月末まで、主要なバス停までの移動手段を確保するため実証実験を実施した。延べ284人の利用があったが、1便当たりの利用者数は1人に満たず、本格

運行には抜本的な改善が必要である。今後は得られたデータの分析や有利な補助制度の活用を行い、より良い公共交通の実現をめざしたい。

《その他の質問》
・移動販売の継続を

農地転用における計画に

圃場整備事業の規格適用を

町「個人の利益のために、別の個人に不利益を強いるような条例などは設けるべきではない」



安井 信之 議員

取っている。疑義が解消されない場合は、県も許可を出すことができない。

質問 圃場整備事業でも農道・水路の計画的な整備がされている。条例で規制を考えるべきでは。

答弁 農地転用の許可は、町の農業委員会で協議した意見を県に送付し、県知事が許可権者となっている。

意見は、農地法の規定に基づき、農業委員会でも審査をしております。仮に農地転用案件で周辺農地等への影響について疑義がある場合は、申請者に確認を



町としても個人の財産に規制を設けることは、公序良俗に反する場合や公共の利益に支障がある場合など、最低限のものでなければならぬ。今回指摘の案件は想像ができるが、個人の利益のために、別の個人に不利益を強いるような条例や規制は設けるべきではない。

保育園の利用要件等の対応策を

町「セミオープンシステムを導入にあたっては、町の支援制度を検討する」

質問 セミオープンシステム導入に対し、町が主導的に対応し、様々な問題が起ると想定される利用者の不安を軽減するべきでは。

答弁 保育所や認定こども園については、就労、求職活動、就学、疾病、出産などの理由で、家庭で十分に保育

することができない乳幼児を受け入れている。出産も、家庭において十分に保育することができない理由に該当し、保育所への入所は可能であり、これまでも受け入れている。

国が進める「こども誰でも通園制度」については、現在の保育所の入所要件が子ども・子育て支援法に基づき定められているので、

来年の通常国会に提出予定の法案や国が来年度行う試験的な事業の動向を見て対応したい。なお、出産がセミオープンシステムの導入になるということで、住民の方に不利益がないように、町としても支援制度を検討していきたい。

再質問 愛育会等で説明会を開いて、不安を聞くべきでは。

答弁 今後、愛育会をはじめ、若い世代を対象にニーズ調査を行っていききたい。



ナラ枯れ被害を

どう対処するのか

町「防除事業を実施するとともに、啓発と注意喚起に努めている」

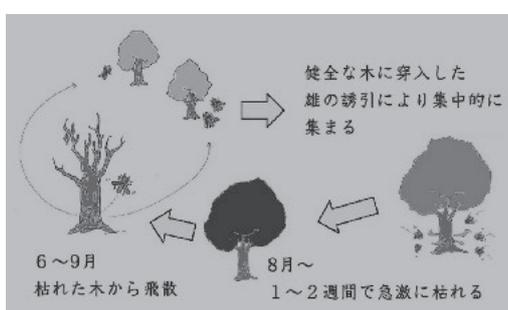
質問 国道や町道に隣接しているナラ枯れの木について、倒木や人的被害が起きないようどのような対策がとられているか。

答弁 ナラ枯れ被害は年々拡大しており、全ての被害木に対応することは不可能な状況にある。

本来、森林所有者の管理の下、伐採等がなされるべきであるが、枯木の倒木や枝の落下による通行人や家屋への被害だけでなく、送電線や道路などライフラインに被害を及ぼす恐れもある。そのため、令和元年度から香川県ナラ枯れ防除対策方針に基づき、県の専門職員との協力を得ながら、景勝地である寒霞溪や

ライフラインに被害を及ぼすおそれのある箇所など、緊急性の高いところを優先的に、森林所有者の同意の下、防除事業を実施している。

また、人的被害が発生しないよう、町のホームページ、各種会合でのチラシ配布などにより、啓発と注意喚起に努めている。



マイナカード運用に伴う

保険証廃止は中止・延期を

町「マイナカードと健康

保険証の一体化を進める」



鍋谷 眞由美 議員

【答弁】 郡内の医師会に確認したところ、顔認証ができない、暗証番号を忘れたなどの事例はあるが、特に大きなトラブルはない。

【質問】 健康保険証の24年秋廃止が決まった。しかし、マイナ保険証は別人の情報と紐付ける事例などのトラブルも相次いでおり、世論調査でも7割超が延期や撤回を求めている。

町内の医療機関でのマイナ保険証のトラブルや不具合はあるのか。保険証廃止は中止し、カードのあり方を根本から見直すような国に求めるべきでは。



マイナ保険証の読み取り機

マイナカードの安全・安定的な運用に向けた制度構築を国に求めた上で、マイナカードと健康保険証の一体化を進めたい。

不登校児童・生徒の支援は

町「個々に応じた対応に努めたい」

【質問】 町内小中学校の「教室、学校に行けない・行かない」不登校児童・生徒の現状は。

今年3月31日に「不登校により学びにアクセスできない子供たちをゼロにすること」を

目指し、文部科学省通知の○○○○プランが出された。

不登校児童生徒が学びたいと思った時に学べる環境の整備として、校内教育支援センターの設置などが求められており、新たに設置する自治体に必要経費を補助することを決めたそうだ。ぜひ検討を。

【答弁】 昨年度の不登校の児童・生徒は小学校で9人、中学校12人。

担任が定期的に電話連絡や家庭訪問を行い、オンラインでの授業参加、別室登校、小豆地区教育支援センター「若竹教室」への登校などの提案や相談窓口も紹介している。児童・生徒や保護者と学校との信頼関係が築けるよう、個々に応じた対応に努めたい。

校内教育支援センターは、これまでの別室登校の役割と異なり、必要に応じて対応している。ある程度の学校規模で対象の児童・生徒が複数いるところでない、補助を受けて通年での人員配置は、ハードルが高い。

教員不足の実態と対策は

町「年度当初の教員は確保できているが、増配置を県教育委員会へ引き続き要望していく」

【質問】 全国で教職員の不足が大きな問題だ。本町の教員の未配置や欠員の実態は。

教員のなり手がいない大きな要因の一つが勤務実態の深刻さにある。スクールサポートスタッフの配置などについての考えは。

また、国・県に対し、教職員定数の抜本的改善や教育予算の増額などを強く要望していたきたいが。

【答弁】 県内では、県教育委員会が決定した配置人数の教員が講師不足で、未配置の状況も生じているが、小豆郡は優先的に配置され、年度当初の教員は

確保できている。しかし、育休代替教員が配置できず2カ月欠員が生じ校内の教員が授業などを分担して対応し、負担となっていた。

スクールサポートスタッフは、中学校に1人配置している。教員の増配置は、県教育委員会へ引き続き、強く要望していく。



授業風景

小豆郡町議会議長会研修会

7月26日に研修会が開催され、直島町議会議員の方々と直島町内の視察を行いました。海外からの観光客も多く、各施設の対応など大変参考になりました。

その後、(公財)福武財団の笠原良二事務局長から、これまでの直島での活動の経緯等のお話を伺い、意見交換を行いました。今後も交流を続けていくことで、島の活力を促進していきます。



香川県広報発行町議会連絡協議会研修会

8月26日に研修会に参加し、株式会社月刊総務代表の豊田健一氏の「読者目線で親切な広報誌を作るには」を拝聴しました。議会と住民との架け橋である議会広報誌について、議会への関心を高めてもらうために必要な企画・編集の基礎知識や住民に読まれるための工夫などについて学びました。

開かれた議会にするため、今後も議会活動をよりわかりやすく伝えていきたいと、気持ちを新たにしました。

全員協議会

8月1日に全員協議会が開催され、次の説明を受け、質疑を行いました。

- 【住民生活課】「脱炭素社会に向けた取り組みについて」
- 【健康づくり福祉課】「小豆島中央病院における産婦人科医療について」

常任委員会

9月15日に総務建設常任委員会と教育民生常任委員会が開催され、次の状況報告を受けました。

- 【総務建設常任委員会】「商工観光課」
- 「小豆島ふるさと村全体整備基本計画の進捗状況について」
- 【教育民生常任委員会】「健康づくり福祉課」
- 「小豆圏域周産期医療の検討状況について」
- 【こども教育課】「池田放課後児童クラブの運営について」

議 会 日 誌

9 月		8 月		7 月	
29日	28日	30日	25日	26日	21日
小豆島中央病院企業団議会定例会	四国四県町村長議長大会	小豆郡町議会議長会	小豆郡町議会議長会	小豆郡町議会議長会研修会	香川県広報発行町議会連絡協議会監事会
6日	8日	23日	8日	1日	7日
第3回定例会(1日目)	第3回定例会(2日目)	香川県広報発行町議会連絡協議会定例会・研修会	香川県広報発行町議会連絡協議会定例会・研修会	全員協議会	香川離島振興市町村議会議長会臨時総会・研修会
13日	11日	23日	7日	7日	10日
第3回定例会(2日目)	決算特別委員会	香川地区広域行政事務組合議会臨時会	香川地区広域行政事務組合議会臨時会	小豆郡町議会議長会	小豆地区広域行政事務組合臨時会
15日	13日	23日	7日	13日	11日
総務建設常任委員会	教育民生常任委員会	香川地区広域行政事務組合議会臨時会	香川地区広域行政事務組合議会臨時会	茨城県土浦市議会視察受入	茨城県土浦市議会視察受入
26日	28日	23日	7日	14日	10日
小豆地区広域行政事務組合議会定例会	四国四県町村長議長大会	香川地区広域行政事務組合議会臨時会	香川地区広域行政事務組合議会臨時会	全国離島振興市町村議会議長会総会・研修会	香川後期高齢者医療広域連合臨時議会
29日	28日	30日	25日	26日	21日
小豆島中央病院企業団議会定例会	四国四県町村長議長大会	小豆郡町議会議長会	小豆郡町議会議長会	小豆郡町議会議長会研修会	香川後期高齢者医療広域連合臨時議会



編集後記

秋風が心地よく吹き抜ける季節がやってまいりました。暑さが和らぎ、木々が鮮やかな色に染まるこの季節に、議会広報と共にお届けできることを嬉しく思います。

9月定例会では、主に「教育・子育て」「観光振興対策」「燃料価格等物価高騰対策」「公共施設の維持管理修繕」などの審議を行いました。

秋の訪れは、新たな始まりとともに素晴らしい機会をもたらします。共に町をより良い場所にしていく責任を感じており、皆様からのご意見やご協力が不可欠です。どんな小さなアイデアや提案も歓迎いたしますので、お気軽にご連絡ください。

どうぞお身体にお気をつけて、素敵な季節「秋」を楽しみお過ごしください。

高尾 豊弘 記

本紙に対するお問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL (0879) 82-7060 FAX (0879) 82-7061
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp